

# つくしSTジャーナル

三重つくし診療所リハビリセンター

文責：言語聴覚士 一ノ木佳奈



## 春が近づいてきた!?!?

三重つくし診療所リハビリセンター言語聴覚士の一ノ木佳奈です。

1月中には津市も2回雪が降り、山間部のお宅への訪問時は雪景色が広がっていました。2月には一層寒さが厳しくなるのではないかと予想していましたが、最近春が近づいてきたような暖かい日が続いており、うれしく思っております。

朝晩はもうしばらく寒い日が続くかと思っておりますので、引き続き利用者さんやご家族の体調変化に留意しながら、日々、支援に当たらせていただきます。

## 当事業所の公用車 ご存知ですか？

写真のように、当事業所では赤い軽自動車  
で公用車をそろえています！

スタッフも増え、この公用車の数は4台。

津市・松阪市内のご自宅・施設に訪問リハビ  
リをお届けするべく、駆け抜けています!!



# ある利用者さんとの言語のリハビリ

## 脳卒中により 数字操作が苦手になった方



買物のときに  
レジで  
焦ってしまう…

予定に合わせた  
時間の逆算が  
難しい…

電話の時に  
数字が難しく  
メモができない…

## 高次脳機能障害とは？

脳は言語や記憶・注意・情緒といった様々な機能を司る臓器です。それらの機能を総称して高次脳機能といいます。脳卒中や交通事故などにより、脳が損傷を受け、それらの高次脳機能が障害された状態を高次脳機能障害といいます。大脳は前頭葉・側頭葉・後頭葉・頭頂葉という4つの部位に分かれており、どこにダメージを負ったかによって出現する症状も違ってきます。

## 実際の言語聴覚士の訪問リハビリでは

高次脳機能障害は、身体面の障害とは違い、見た目ではわかりづらく、軽度であれば以前と変わりなく普通の生活を送っているように見える場合があります。しかし、実際には生活上で様々な困りごとを抱えている方がたくさんいらっしゃいます。現在担当させていただいている利用者さんも会話が可能であり、見当識障害もない為、入院中にはさほど高次脳機能障害が問題視されていませんでした。しかし、退院後の生活では、数字が苦手になられたことで、社会人としては欠かせない、買い物や金銭管理、日付や時間の管理などでの困りごとを抱えていらっしゃいます。言語の訪問リハビリでは実際の生活に戻ってわかった、さまざまな困りごとをお聞きし、リハビリ・支援させていただいています。

当事業所の言語聴覚士の訪問リハビリでは、嚥下障害、失語症、高次脳機能障害、構音障害などでお困りの方に対し、ご自宅や施設でリハビリをさせていただきます。

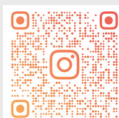
お気軽にお問い合わせください。

言語聴覚士

一ノ木 佳奈



Instagram  
@st.1\_mie\_p5



株式会社 P5

三重つくし診療所リハビリセンター



080-6910-8620



059-235-2090



p5.k.nakada@gmail.com



<https://p5-inc.jimdofree.com/>



Instagram  
@p5\_inc.official

